



雄夫婦図高蒔絵硯箱

KOUGEI OF THE MEIJI

世界が驚嘆した美の心髄

明治・大正の木彫と蒔絵

2016年 4月5日[火] — 5月27日[金]

10:00~18:00 | 観覧無料 (休館日日曜・主催(株)平成建設)

舞い散る桜の木の下で戯れる二羽のキジ。金粉を巧みに蒔き分け美しい光の濃淡で魅せる、蒔絵の硯箱です。長く続いた平和な江戸時代に、豊かに成熟した芸術——。その匠の力を世界に向けて展開しながら新たな文化を造り上げた明治・大正時代。その礎となった工芸の驚愕の技は、数々の万国博覧会で賞賛されました。現代まで大切に伝承された木彫と蒔絵の名品を展示いたします。



 平成建設

平成記念美術館 ギャラリー
(株)平成建設 世田谷支店

松竹梅鳥蒔絵三ツ組盃

KOUGEI OF THE MEIJI

再び脚光を浴びる工芸の美 驚愕の技が光る名品を一堂展示

松の木肌の圧倒的な臨場感 (写真：右)

蓋を開けると、別世界が現れる硯箱。はるかな海の向こうに富士山が悠々と映え、黒柿の木目も風景の中に溶け込み、穏やかな広がりやさざめく波の景色。画面から彫り浮かび、刺さるように生き生きとした松の葉の間に海風が吹き抜けていきます。明治工芸のレベルの高さを実感する一品です。

浮丸彫刻 老松静波硯箱 相川松濤 作 (高6cm × 幅23cm × 奥行24cm)



浮き上がる花 (写真：左)

大振り花瓶に活けられた花々の平面的な絵が、突然、命を宿して3Dになっていくような錯覚に陥ります。わずかな凹凸のレリーフに彫り込まれた繊細な表現と立体感。コロンブス大陸発見400周年を記念するシカゴ万国博覧会(1893年)に出品され、大きな評判を得ています。

為米国閣龍世界博覧會模彫 半藤逸我 作 (高3cm × 幅60cm × 奥行59cm)



万国博覧会で大絶賛のジャパニーズクラフト“KOUGEI”

光輝く硯箱や、緻密な木彫の盆、蒔絵により丁寧に仕上げられた杯。高度な装飾を施された実用品は、美意識の高い日本人が生み出した“KOUGEI”という名の逸品でした。上質な素材を用い、見る者を唸らせる職人技術で彩られたそれらの名品からは、美に対する情熱と、職人の息遣いを感じることができます。海を渡り、世界中の万国博覧会で絶賛された“KOUGEI”は、高度な日本の技術に惚れ込んだコレクターの手に渡り、長い年月を経て故郷である日本へ里帰りをしています。世界が認めた日本の工芸作品をゆっくりとお楽しみください。



息をのむ立体感

リアルな浮彫や、造形物で表面を装飾する「高浮彫(たかうきぼり)」。戯れる雀と、眼光鋭い鷹が生き生きと表現され、緻密な柄が描かれた布の表現や背景の色紙絵からも、当時の高度な技術を垣間見ることができます。

眞真製 高浮彫花瓶「鷹に雀」色紙絵彩面殿堂図 ※陶器 参考出品 (高44.5cm × 幅24.0cm)

次回企画展(2階特別展示室)

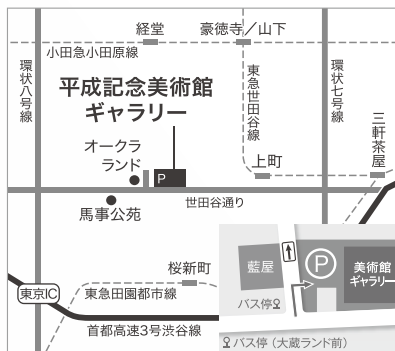
2016年5月2日(月)～5月27日(金) 超絶技巧の極み「藪明山」

人の手で描いたとは思えないほどの細密な絵付けは、まさに超絶技巧の誉。人物の表情、風景の細密、着物の絵柄、群蝶紋の色塗り分けなど、驚くべき極細密画の精緻な陶芸「藪明山」。前回展での未発表作品も多数展示いたします。

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。

平成記念美術館 ギャラリー

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4
TEL.03-3426-1103
開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料
休館日: 日曜・年末年始 / 駐車場: 全5台



【電車】 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分
【お車】 馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m
【バス】 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋谷24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分